

# 福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞

TBSラジオ『メイ』のいきいきモーニング 取材紹介

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定  
350-0016 埼玉県川越市木野目1878番地一

特定非営利活動法人 **福音の園・埼玉 事務局**

☎049-230-1111 (Fax)230-1112

福音の園・Gospelarden®は 有限会社シヤロンの商標

イースター(復活節)に寄せて

## 妻の見守り兼ねたデイサービス

母が福音の園にお世話になったのが、平成一七年の一月、父がお世話になったのが二〇年六月です。この間、杉澤ホーム長様はじめ職員の方々には、お世話になりっぱなしで、母も父も大変喜んでいるとだと思えます。母は八七歳で今年の三月二一日、父は八九歳で今年の五月二七日に亡くなりました。最初は、何も二ヶ月チョットで、夫婦二人で亡くならなくても良さそうなものと思いましたが、母は最期の頃は、姉妹の顔を見ても声に出して言うことができないう状態でしたので、そんな母を六年二ヶ月もお世話いただいた福音の園に感謝をいたしております。母は入所わずかで大腿骨を骨折し、ある病院に入院したのですが、褥瘡(じよくそう)が激しく、私共も困っております。そんな時にホーム長様はじめ職員の皆様から「退院してホームに帰っていらっしやい」と言う言葉を頂き、それを聞いた時は、妻が泣いて喜んだことを昨日の事のように覚えております。

父は、アルツハイマーからくる認知症でしたが、そんな父だけのためにホーム長様はデイサービスを開設して下さいました。母は、その頃から口がきけませんでしたので、母の見守りを兼ねたデイサービスを考えて下さったのです。父の最期の頃は、一週間丸々お世話になりました。先日、父の四十九日も過ぎましたのでご挨拶に伺いましたが、私共としては、やることはやったという気持ちで強く安堵しております。こんな気持ちにさせてくれるのも、福音の園のお蔭と思っております。長い間ありがとうございました。心から御礼申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。(I・K)

※※※※※※※※※※※※※※※※

【注】昨年三月二一日、八七歳で逝去されたM・Yさん、五月二七日、八九歳で逝去されたM・Yさんご家族様より頂いたお便りです。Tさんは胃ろう造設手術後も二年十ヶ月寝たきり生活され「ホームで最後まで」のご家族様希望通り、「利用者家族本位・重度化指針」看取り介護(看護)体制により お見送りいたしました。

## 新年度を迎えて―基本理念・運営方針説明

### 「肝苦(ちむぐりさ)の心」―介護の原点

グループホーム福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳

沖繩に「ちむぐりさ」という言葉があります。漢字では「肝苦りさ」と書きます。肝が苦しい、心が痛いという意味です。対して沖繩には「かわいそう」とか「気の毒」という同情を示す言葉は無いのだそうです。「かわいそう」という言葉は、辞書によれば「弱い立場にある者に対して、同情を寄せ、その不幸な状況から救ってやりたいと思うさま」とある。これは大げさに言えば「自分が上で、相手が下」、「私は相手に同情してやっている」という心が隠れている

場合があります。しかし、「肝苦(ちむぐりさ)は違う。「相手が苦しい。だから私も苦しい」というような意味で、他者の痛みを自分のこととして感じる気持ちです。

沖繩は唯一の地上戦が行われたところ。誤った教育は人々が互いに殺し合うことを強制し、愛する者が愛する者に手をかけることさえ行われたところ。生き残った人々も、身の置きどころのない、やりきれない気持ちに襲われ、自分を責めました。これが「肝苦りさ」です。

本誌二月号で『逃げない介護―介護プロを目指して』と題して、「業務上の介護」と対極な「愛の介護」について記しました。「肝苦りさの心」こそ介護(福祉)に携わる者の心だと言えます。そして、「愛の介護」とは「肝苦りさの介護」だと確信しています。

介護に疲れ 苦しむ家族の痛み、認知症状により混乱するご本人の痛みを自分のこととして感じる「肝苦りさの心」が介護事業者に微量でもあったなら、「車イスになつたので」、「レベルが落ちたので」これ以上お世話できない」とは言わないはずだからです。

### 福音の園・川越 スタッフ一覧

(四月一日現在)

早出・普通・準遅・遅出・夜勤の五交代制でお世話させていただくスタッフを紹介いたします。

一階・計画作成担当・鈴木 昌子(ケアマネジャー)。

介護職・松田 亘司、羽田野 ちづ子、長澤 かつ子、山口 藤子、小野 登代、山口 静江、野村 智子、左近 充成子。

二階・計画作成担当・杉澤 玉美(主任ケアマネジャー)。

介護職・杉山 直美、小島 悦子、石井 ひとみ、

杉山 和子、南里 紀代子、小笠原 美和子、

弓田 テツ子、宮腰 千代、川上 順子、武田 純子。

看護職・石井 浩子。事務職・浅見 益子。

管理者・杉澤 卓巳(リスクマネジャー) 以上、二十三名。

